

2025 年 4 月 6 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会
第 67 巻第 54 号 (通算 3436 号)
教会設立 1959 年 6 月 14 日

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さく^{ひと}されている人を
^{たいせつ}大切にする^{きょうかい}教会



〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

主任担任教師・牛田 匡 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替：00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

【集会案内】こどもの礼拝：毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝：毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

丈夫な人に医者はいらないが、具合の悪い人には必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」
を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書 2:17)

じゅなんせつ だい しゅじつれいはい
レント (受難節) 第5主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏 (黙祷)

ちゅうけいはいしん
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しへん
詩編

ちよさくけんしやうめつ
118編 1, 2, 6節

さんびか
賛美歌

ばん ばん にな じゅうじか せつ
21-305番「イエスの担った十字架は」(1-5節) (©JASRAC)

しょうとう ことば
消灯の詞

せいしよ
聖書

ふくいんしよ
マタイによる福音書

しょう せつ
20章 20-28節

いの
お祈り

さんびか ばん かんむり てん ざ
賛美歌 21-443番「冠も天の座も」(©教団讃美歌改訂委員会)

した のぼ い かた
メッセージ「下に上る生き方？」

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

さんびか ばん おか うえ しゅ じゅうじか ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-303番「丘の上の主の十字架」(©著作権消滅)

ユーカリスト
聖餐

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

きやうどう いの へいわ
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さんびか ばん な ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの
主の祈り

ささげもの
献げ物 (*)

は けん ばん かんめ ぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅく ふく
祝福

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

こう そう
後奏

アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

ほう こく
報告

ページ さんしやう
(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 118 編 1, 2, 6^{せつ}節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹主に感謝せよ。まことに主は恵み深い。慈しみはとこしえに。

²さあ、イスラエルは言え。慈しみはとこしえに。

⁶主こそ味方、私は恐れない。

人間が私に何をなしえようか。

しょうとう ことば
消灯の詞 (参照：ルカによる福音書 23 章 32－43 節)

イエス様が、十字架の上で苦しまれながらも敵をゆるされたことを思いながら、
5つ目のろうそくを消します。

聖書 マタイによる福音書 20 章 20－28 節 (聖書協会共同訳 ©日本聖書協会)

²⁰ その時、ゼベダイの息子たちの母が、息子たちと一緒にイエスのところに来て、ひれ伏し、願い事をした。²¹ イエスが、「何をしてほしいのか」と言われると、彼女は言った。「私の二人の息子が、あなたの御国で、一人はあなたの右に、一人は左に座れるとおっしゃってください。」²² イエスはお答えになった。「あなたがたは、自分が何を願っているか、分かっているか。私が飲もうとしている杯^{さかずき}を飲むことができるか。」彼らが、「できます」と言うと、²³ イエスは言われた。「確かに、あなたがたは私の杯^{さかずき}を飲むことになる。しかし、私の右と左に座ることは、私の決めることではない。それは、私の父によって定められた人々に許されるのだ。」²⁴ ほかの十人の者はこれを聞いて、この二人の兄弟のことで腹を立てた。²⁵ そこで、イエスは一同を呼び寄せて言われた。「あなたがたも知っているように、諸民族の支配者たちはその上に君臨^{くんりん}し、また、偉い人たちが権力を振るっている。²⁶ しかし、あなたがたの間では、そうであってはならない。あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者となり、²⁷ あなたがたの中で頭^{かしら}になりたい者は、皆の僕^{しもべ}になさい。²⁸ 人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金^{みのしろきん}として自分の命^{いのち}を献^{ささ}げるために来たのと同じように。」



《先週のメッセージより》2025年3月30日 受難節第4主日礼拝

「これに聞け」より

水谷憲牧師

聖書 マタイによる福音書 17章 1-9節

キリストが3名の弟子と共に高い山に上られた時、弟子たちはまぶしく変化したキリストと共に、モーセとエリヤという伝説の預言者たちを目撃するという神秘体験をする。するとペトロがこの預言者たちの間に割り込み、幕屋建設を提案するが、光り輝く雲から「これは私の愛する子、私の心に適う者。これに聞け (5)」という声が聞こえたので、弟子たちはひれ伏し、非常に恐れた。

神が私たちに求めているのはきっと、こちらの思い先行で動き回ること（それも大事だが）よりも、聴従することなのではないか。そこにはいつも「神が私たちに求めていることは何なのか」「イエスはいつも私たちに何を語っていたか」という問いがなくてはならない。神の「これに聞け」という声にひれ伏し恐れたというのは、その声により弟子たちが自分よがりの思いに気付かされたからかもしれない。

しかし、自分の気づかぬうちに自分中心になってしまい、そのことでしばしば落ち込んでしまう私たちだが、そんな私たちであってもキリストは決して見捨てず、いつも寄り添い手をふれて、優しく声をかけて下さる。「彼らが目を上げてみると、イエスの他には誰もいなかった (8)」。たとえ私たちから多くの人々が離れ去って行こうとも、イエス・キリストだけは最後まで私たちを見捨てることはされない、ということを、私たちはいつもしっかりと憶えていたい。

その後「一同が山を下っている時、イエスは『人の子が死者の中から復活するまで、今見たことを誰にも話してはならない』と弟子たちに命じられた(9)」。「今見たこと」とは、弟子たちの神秘体験そのもの。しかしそんな神秘体験の感動というものは、なかなか共有しにくいもので、人々にただ触れ回るだけでは伝わらない。神と出会った体験を人々と共有するには、その体験によって変えられた私の姿を、これからの実際の生活の中で周りに証ししてゆくしかない。だからこそキリストは「話してはならない」、口ではなく、身をもって福音を証しをせよ、と言われたのではないか。そのために私たちは「これに聞け」という声を受け止めて、いつもキリストの言葉や姿に自分の姿を照らし合わせつつ、倣いつつ、神との出会いによって変えられた自分を日常の中で証ししながら、歩んでいきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 3 月 30 日 受難節第 4 主日礼拝

礼拝出席 大人 11 名 献金 大人 17,700 円 中継視聴者数 6 回 感謝
2024 年度末をもって担任教師を辞任される水谷憲牧師による最後の礼拝でした。
礼拝後に、皆で水谷先生を囲んでの愛餐会（送別昼食会）をいたしました。

◎次週 2025 年 4 月 13 日（日）棕櫚の主日（受難節第 6 主日）礼拝

招きの詞 コリントの信徒への手紙Ⅰ 1 章 18 節

聖書 マタイによる福音書 27 章 32-56 節

メッセージ 「救いとは何か」牛田匡牧師

賛美歌 21-305 番（©JASRAC）

今年のレント（受難節・四旬節）は、3 月 5 日（水）から 4 月 19 日（土）です。
レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかについて考える時です。

礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」をいたします。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後に、2025 年度 4 月期の「教会を考える会（役員会）」を開催いたします。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・次週 4 月 13 日（日）から始まる「EXPO2025 大阪・関西万博」に対し、日本基督教団大阪教区社会委員会は、開催に抗議しています。なぜなら、万博そのものが、テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に、反しているからです。



わたしたちは大阪・関西万博の開催に **抗議** します。万博そのものが、テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に反するからです。

日本基督教団大阪教区 社会委員会

こんな理由で万博が心配です！

いのちを脅かしているの？

驚きません。チケット購入のために個人情報を入力しなければなりません。これは人間の生命データを取ることを目的としています。健康、不健康イコール社会に役立つ存在か否かを仕分けることは優生思想につながります。優生思想はいのちを脅かせるものではありません。

みんなのためなの？

大阪万博は「カジノありきだ」と言われるように、万博のインフラ整備がカジノに利用されるのは事実です。貴重な予算は能登半島の復興や子どもの貧困対策など困っている人々への支援にまわすべきです。問題の根本は、「成長の起爆剤」という言葉がすべての批判への抑圧となり止められなくなっていることです。開催することが目的化しています。

公衆のためなの？

大阪では過去に何度もメガイベントが開催され、そのための両開きによって、野営生活者や労働者の権利が脅かされてきました。今回の万博の巨額計画が開始されてからも、「誰でも使える公園」にするために花園公園が、野営生活者・労働者のセーフティネットであったあいりん総合センターが強制閉鎖されました。どちらも数年以上が経ってもいまだに閉鎖されたままです。公共の場である公園やセンターで強制閉鎖と排除が行われる大阪に「いのち輝く未来社会」が実現することはありません。

安全なの？

万博会場の夢をとりまく安全性は数多く指摘されています。メタンガス爆発事故、交通手段の確保、地震・津波・台風等の自然災害への防災、熱中症対策と課題は山積みです。子ども無料招待事業が進められる一方で、参加を見送る学校や自治体が続いています。安全を感じられない場で「いのち輝く未来社会のデザイン」を描けることはありません。

SDGsなの？

大阪万博は「SDGs万博」と言われています。持続可能な開発目標の中には「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」というものがあります。しかし、万博の目玉として造られた大屋根リングには、およそ 2 万 7 000 立方メートルの木材が使用されています。リングに使用された木材は再利用されますが、海面にさらされた木材は再利用するには難しく、実数利用される木材は 8 分の 1 ほどだそうです。会場には人口芝が使用される予定です。海洋プラスチックごみになる人工芝を使用することも環境に対する配慮が微塵もありません。

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
4/13	牛田匡牧師	おにぎり支援
4/20	牛田匡牧師	イースター礼拝・ユウカリスト・誕生者祝福式 愛餐会(昼食会)・定期教会総会
4/27	休会	(第二好意の庭・感謝祝福式) 教会での礼拝はお休みです
5/4	牛田匡牧師	ユウカリスト・教会を考える会